



# 令和8年度 車座集会 意見交換内容

|        |                                                               |
|--------|---------------------------------------------------------------|
| 日時     | 令和8年7月9日(木)14時00分から                                           |
| 場所     | 吉井地区コミュニティセンター 第1～3講座室                                        |
| テーマ    | ・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて<br>・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取組み) |
| 出席者    | 地域参加者10名、市長及び関係部局長等4名 合計14名                                   |
| オブザーバー | 市議会議員1名                                                       |

佐世保市 市民生活部  
コミュニティ・協働推進課

# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取り組み)

## 地域参加者

- 直谷城跡は、福井洞窟にも近いという地理的な関係から、観光資源としても活用するために旧町の教育委員会において昭和から平成への移行期に3回にわたって発掘調査が行われたが、期間はそれぞれ2週間程度で、十分な発掘とは言えないサンプル的な発掘であった。そのために未解明の点や整備が必要な箇所が多く残っているというのが実情である。それが解明されるならば、国指定史跡ということになる可能性も一段と高まるものと思われる。

そこで次の3点についての要望等と、市立吉井北小学校の廃校に伴う施設の一部利用について提案をさせていただく。

まず1つ目に、直谷城跡について再調査の実施をお願いしたい。詳細な再調査を実施することで、直谷城の城主が居住する館城であったのか、城主は普段は麓に住み戦のときに籠城する詰め城であったのか、城の形態が解明できるということが期待される。また文献により、直谷城の始まりは戦国時代中期というふうにされているが、一方で平安・鎌倉の時代から同地にまつわるといふ伝

説がある。そうした伝説の解明により、郷土史の解明もできるので、ぜひ再調査をお願いしたい。

- 2つ目に、城跡遠望景観の整備をお願いしたい。直谷城跡は周囲を30メートルの断崖に囲まれた険阻な地形が特徴の山城となっている。しかし南側を除く三方は、崖下を樹齢60年を超える市有林の杉が「断崖に囲まれた山城跡」という景観を阻害している。完全に、山城とか隠れてしまっている。対策として、10年以上前に文化財課に改善策の提案をしたが、それが実現しないまま現在に至っている。
- 3つ目に史跡公園としての整備をお願いしたい。直谷城跡は個人の見学者が絶えず、休日ともなると、必ずと言っていいほど見学者があっている。団体の場合は、私どもに事前に連絡があればガイドするのだが、個人の場合はその備えがない。一部に危険な場所があり、そこに安全柵や階段などの整備を行い見学者の安全性を確保し、さらに、東屋などの休憩施設の設置、案内版の更



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取組み)

## 地域参加者

新とか、二次元コード等によるガイダンス機能の充実を図ることが望まれる。また、堅堀、武者溜り、武者走り、見学通路など、主要な郭跡や遺構周辺の低木は、10年から20年というふうに書いてあるが、現実には20年程度ごとに皆伐して、見学者が容易に遺構を視認できるような改善が必要である。

- 4つ目に、学校の統合で廃校になる吉井北小学校の施設活用の一例として、直谷城の前庭とも言える同地にふさわしい施設、「佐世保市の山城ミュージアム」の設置を提案したい。そのミュージアムに戦国時代の直谷城のジオラマを置き、直谷城跡の紹介をはじめとして、市内49ヶ所、中世の山城跡があるというふうに言われているが、すべての位置図、或いは現況写真等を掲示して、見学する人たちが市内の山城跡等の所在を一覧して、中世の山城佐世保の時代はどういうふうにあったのかという姿を知る施設となるように、そういうものを作って欲しい。

- それから、直谷城跡とは異なるが、この吉井中学校のところから北、福井の曲川というところまでの1kmの間に、3つの「コンクリート複連アーチ式鉄道橋」がある。平成16年に工学院大学の検査チームが見えて非破壊検査が行われた。その結果、一部に竹筋が使われた可能性があり、大部分は無筋という検査結果が報告がされている。全国的に、この複連アーチ橋の鉄道の現役の橋としては、ここだけしかないと言われている。そうしたことから、平成18年に国の登録有形文化財に登録をされた。そして、3つのこの橋梁の中で、間近で容易に見学できるのは、福井川と県道をまたぐ「福井川橋梁」であるが、この橋の現状は、橋下の周辺の樹木が成長して橋梁の景観が見えなくなっている。特にこの橋梁には透かしがデザインされており、デザインが美しいという点も評価されている。河川を管理する県当局に景観支障木の伐採を要望していただきたい。



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

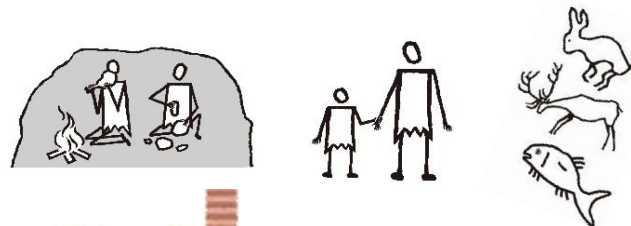
テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取り組み)

## 教育総務部長

- 直谷城の関係として、沿路整備、樹木伐採工事や危険箇所の調査などを行い、また毎月のエコツーリズムの会の定例会に文化財課の職員も出席して、情報交換をさせていただいているところである。そして現在、文化財関係の全体的な計画を策定しているところである。佐世保市文化財保存活用地域計画、その中で、吉井地区は保存活用区域ということで使用させていただいているところである。本年度に文化庁の承認をいただくように今作業を進めているところである。それから直谷城跡の大規模事業を行うかについてであるが、こちらは県の方の指導が必要、そしてさらに、別途、保存活用計画、直谷城の整備のための保存活用計画を進めていくことが望ましいということで、言われているところである。そのような状況だが、先ほど、直谷城関係4点、福井川橋梁関係1点のお話をいただいた。実は私先月、直谷城に登った。学芸員同行のもと解説をしてもらいながら、直谷城の歴史、特徴、そういったものについては少し理解をしたところであるため、今日の要望内容、すごくリアルに感じたところである。

まず、城跡の再調査については、県との協議が必要であるため、再調査の実施は可能と考えているところであるが、目的や、実施時期、規模を整理していく必要がある。先ほど言われたが松浦市関係の山城群の指定が、県が調査に取り組んでいたというようなところであるが、現在、途切れている。再調査には検討協議を重ねていく必要があると考えている。

- 60年以上前に、広範囲に植えられているということで、城を囲む形で道路沿いに合った形で杉の木が植えられており、現在市有林ということになっている。下に民家もあるということで、広範囲な樹木伐採をやるとやはり土砂崩れの恐れというのも危惧するところ。文化財の毀損というような懸念も出てくるかと思うので、そういったところも考慮しながら進めていく必要があるかと思う。



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

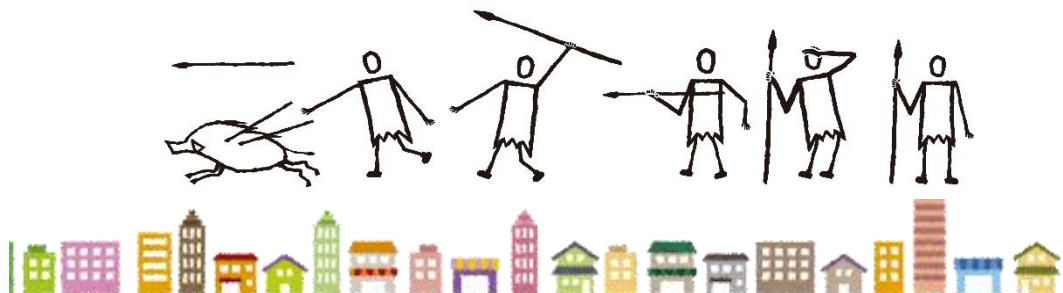
テーマ：・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取り組み)

## 教育総務部長

- 基本的には、現在行っている文化財の保全というものを第一に考えた中での活用というものを進めるのが望ましいのではないかと。あと、東屋などの史跡の公園整備については、文化財の指定地内は長崎県の許可が必要となるが、指定がいただければ検討可能ということなので、まずはガイダンス機能の充実として、説明看板の設置等に取り組んでいきたい。
- 吉井北小の土地利用については、継続協議ということでお約束をさせていただいた。その中で範囲も含めて持続していく形を作っていく必要があると思っているので、継続協議の中でお話を進めさせていただきたい。
- 河川の景観のための樹木の伐採については、河川管理者である長崎県へ要望して参りたい。

## 市長

- 今日は、郷土史研究家として、文化財を活かしたまちづくりについてのお話をいただいた。もうすでに直谷城に関しては、ご著書をお書きになられて本当に造詣が深くあられて、この話題についても、いろいろと研究またお話をさせていただいてることに改めてお礼を申し上げたい。また、昨日長崎新聞を見ていたら、福井洞窟の話と吉井エコツーリズムの会の赤木会長の話を書いてあった。本当に積極的な活動について改めて感心し、こうしたことでいろいろとご協力をいただいていることにもお礼を申し上げたい。直谷城に対する深い造詣をもとに具体的なご提案をいただいたので、しっかりと検討をさせていただきたい。景観の環境づくり整備も含めて、今教育総務部長が話したとおり、県とも連携をしながらそれぞれの事業について対応を協議をさせていただきたい。



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取組み)

## 地域参加者

- 吉井北小は直谷城跡のある内裏山の一角にあり、これから建設される給食センターには、コミュニティスペースも設けるという説明を受けている。皆さんのお手元にお配りしている福井洞窟から直谷城への観光ルート(案)を見ていただきたい。

まず、福井洞窟ミュージアムを見学して、直谷城跡には北小の校舎の裏から登ることができる。直谷城大手道から散策をするということで、この写真の直谷城大手道、北小の前に看板が設置しており、校舎のすぐ裏手から登れるようになっている。北小から登れるということをPRすれば、給食センターの駐車場に駐車して直谷城跡を散策することができる。

そのためには、駐車場の面積を広く設けるために、給食センターの建屋を2階建てにして、1階を厨房、そして、2階に事務所とコミュニティスペース、そのスペースには文化財などの展示ができるようなものができればと思っている。そうすると駐車場を利用して、直谷城跡を散策をし、そして

コミュニティスペースで休憩をとりながら展示物を見てゆっくりしていただいて、それから福井洞窟に向かう、そういうルートができ上がるんじゃないかなというふうに思っている。



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取組み)

## 経済部長

- この吉井地区の観光素材としては、まさに、福井洞窟、それから直谷城、それからこのミュージアム、これは非常に大事な観光資源というふうに捉えている。佐世保観光コンベンション協会の方では毎年、観光素材集というのを作り、それを全国の旅行会社の方に営業で回るという取り組みをしている。その中で特にミュージアムがオープンした直後、或いは、福井洞窟が特別史跡に指定された後は、佐世保市内の観光素材の中でも一押しスポットとしてそれを前面に出して、特に、教育旅行、こういったところにも、非常に親和性の高い素材というふうに認識をしている。そういった素材集を持って、学校、或いは教育旅行を専門に扱う旅行会社とか、こういったところへの営業活動を現在も継続して取り組んでいるところである。
- こうした中で、今回会長の方から観光ルートということで、写真までおつけいただいてご提案をいただいた。こうした観光ルートというのは、例えば、個人の方が散策して回るのであれば、その回りやすいルートをきちんと整備をしてお知らせをすることが大事だと思うし、たくさんの方に来て

見ていただくということであれば、例えば料金をいただいてそういった観光ルートを作るということになれば、ガイドさんや、そうしたものの整備も必要になってくると考える。

早速、観光コンベンション協会とも協議をしながら、どうしたらそのお客様に喜んでいただけるか、この吉井地区のそうした価値をしっかりと伝えることができるか、我々の方でもしっかり考えていきたい。今回いいご提案をいただき、本当にありがとうございます。



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取り組み)

## 教育総務部長

- 給食センターについては、建設手法の内容はこれから決めていくことになるが、まずはPFI、官民連携の手法での検討を進めていく。その中で、財源を含めたフレームの中で進めていく必要があり、給食センターが基本的な軸というところで、そのプラスアルファの要素、価値、これを皆様と一緒に考えていきたい。  
またその一方で、市民全体の財産というような視点も必要になるので、できることとできないこともあるが、様々な視点から考えていきたい。



## 市長

- 会長の方から観光ルートの話があったが、これは私も99の政策の中で書かせていただいた。特に福井洞窟の国特別史跡の指定というのは、我々にとっても大変喜ばしいことであり、この福井洞窟を活かしたこれからの観光、また学術的な拠点づくりということが重要だというふうに改めて思う。特に、佐世保市は洞窟のまち、洞窟が30も存在をするという意味で、全国一の洞窟の町であるので、ここを十分に活かしながら、福井洞窟を中心としてその連携をどう図っていくのか、これからさらに深掘りをしていかなければならない。  
そうした中で、いわゆる吉井北小の跡地の活用について。給食センターが皆様方のご理解のもとに、建設をさせていただくことが決定している。そういった中で、この給食センターのあり方について、先ほど継続協議という話があったが、皆様方のいろいろなご要望をしっかりと受けられるような形で、これから建設を進めていきたい。これについては、内部でもこれから協議を続けていきたいと思っているので、ご理解をよろしくお願い申し上げます。



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取り組み)

## 地域参加者

- 先ほどの文化財を活かしたまちづくりに関する説明資料の中に、市の指定文化財の一覧があったが、実際、保全とか継承をしているのは地区の町内会の方々がされている。ところが、人口減少で担い手が不足してきており、なかなかそれも十分に回せない。佐世保市の過疎地の対策を見たが、人口を増やしていくとかそのまま継続していくというような対策があまり載ってないように思う。ご夫婦で、片方は佐世保に通勤、片方は松浦とか伊万里の方に通勤されるという方に話を聞いたら、ちょうど中間にあたる吉井に家建てるのが望ましい、おまけに地価が安い、ということを言われていた。そういった過疎地の対策をもっと評価していただければ人も増えていくだろうし、今から作っていく文化財を中心としたまちの発展にも繋がっていくのではないかと。特に、梶木場線の細い道路の改良や、福井洞窟前からの子産坂トンネルに行く道の改良とか。冬場にちょっと凍ったら大渋滞に繋がるためなかなか住みづらい。そういった対応を進めながら、人が増えるとか維持するとか、そういう対策をやっていたらいい。

## 市長

- 人口減少に対する対策ということについての話があったが、まさにそのとおり、現在本市は人口減少、或いは転出超過が進む中で、そうした人口減少対策を、なお一層しっかりとやるということが重要であるというふうに認識している。庁内の部局長会議でも、これまで以上にスピード感を持って危機感を持って各対策をやるように指示をしているところである。そうした中で、先ほどお話をいただいたことに関連した話として佐世保市においては、いわゆる市街化調整区域の問題にも影響していると思っている。要は、この線引きをどのようにこれから佐世保市として考えていくのかということであるが、今このように、人口減少が著しく進む中、特に若い皆さん方からは住宅などが建てやすいような、そのようなまちづくりをやってはどうかというようなお話もいただく。一方で、やはり住宅などを建てる際には、そのインフラについての整備をする責任も伴ってくる。これは例えば、線引きを無くし、新たに住宅を建てていけば、住宅と同時に水道施設というものを造っていかなければならないということである。しかし、現状の人口



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取り組み)

## 市長

減少、転出超過を考えるとときには、やはり一定、線引きによる規制を緩和していく必要があるというふうに思っている。従って今後は、専門家の皆様方の意見などを踏まえるため、協議会などを設置をして、その中で十分にこの線引き制度というものも議論をしながら、可能な限りこの緩和ということを図っていきたい。



## 地域参加者

- 福井洞窟のすぐそばにずっと住んでいるので、非常にこの文化財を活かしたまちづくり、ありがたいなと思う。この文化財を生かして、小学校、校舎跡地となると思う。ところが、現在倉庫として使っている健康館の電気が切られていて、夜間収納する時真っ暗になっている。

例えば今後、小学校跡地を利用しようということであれば。これはおそらく高圧受電をしているので、専門的だが、キュービクルを使って受電しているので費用がかかりすぎている。なので、一般家庭みたいに低圧受電をすれば、例えば30アンペアか40アンペア必要なものだけにすれば料金はかからないと思う。必要な時必要なだけ使えばいい。

同じ受電設備で、おそらく体育館も電気が受電されているがそれだとお金がかかりすぎる。保安協会の方が入ってきて、その方の点検を受けたりとか、高圧の場合は非常にお金がかかる。それぞれ必要なところに必要な部分だけを低圧で残してもらえれば、非常に活用しやすくなるし、料金も抑えられるんじゃないかと思う。



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取り組み)

## 地域参加者

この文化財を活かして、小学校の跡地を利用してというのが、電気に関しても必要な分を使える状態に残していただきたい。

## 市長

- 副会長からもお話をいただいた。帰って早速、その辺の詳しいことを検討して、今本当に貴重なアドバイスをいただいたので、しっかりと検討して直せる部分については直していきたい。

## 地域参加者

参照:資料1「吉井地区自治協議会の取り組み」

- 「がんば吉井」は、吉井地区コミュニティーセンター主催事業、「がんば吉井」、「吉井のよかところ見つめてみんな〜地域で頑張る大人たち」、ということで、吉井地区コミュニティコミュニティーセン

ター主催講座で、吉井中学校1年生総合学習が行われ、その講師を吉井地区自治協議会が担当しているものである。

最初に、吉井地区自治協議会の概要を会長が、次に自治協各部会の説明を事務局が行う。中学生は日を改め、今度は各部長からの話を聞き、そのあと、各部会に分かれてグループワークで質疑応答を行う。それからさらに日をおいて、中学校でまとめ学習に入り、最後は地域の人を招いて、その成果を発表する日まで設けている。ここまでが「がんば吉井」。

私たちは、吉井中学校1年生の皆さんに、吉井地区自治協議会の活動を通して、吉井のことを学び、考え、地域づくりの実践者になってもらいたいと思っている。

それではここから、「がんば吉井」で説明した吉井地区自治協議会の活動についてお話をします。自治協の部会は、総務部会、防犯防災部会、生涯学習部会、まちおこし部会、福祉部会、と5つの部会がある。今日はその中から主に、近年、新しく始めた事業、取り組みについてお話をします。



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取り組み)

## 地域参加者

(資料を用いて、それぞれの部会の説明)

特筆すべきは、これらの活動が常にブラッシュアップされてきたということである。住民が、この不便は当たり前、仕方ないとしてきたことを掘り出し、当たり前じゃないですよ、我慢しないでいいですよと、活動の中で浮かび上がった改善点を誰一人、人任せにせず、自らがその解決策を持って、次の活動につなげている。そしてこれは、吉井地区自治協議会の活動全般に言えることだと思っている。

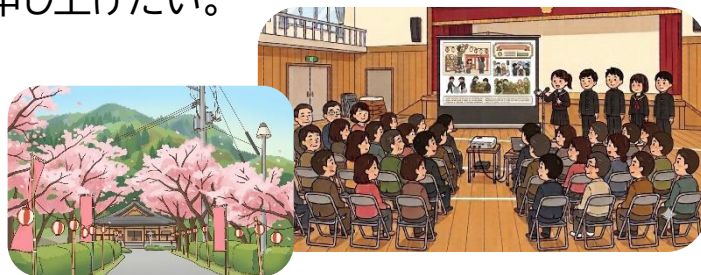
今から40年前、御橋観音の当時の休憩所を、練習場所に提供していただいたそう。そのお礼に何かできないかと考えて、御橋観音で祭りをやろうと始めたのが、御橋観音の春祭りである。その祭りが今日まで続いている。

このように、吉井地区自治協議会の各部会が実施している年間事業は、町おこし、まちの活性化に繋がっている。そのことをお伝えすべく、今日は吉井地区自治協議会の、新しい取り組みを中心にお話をした。

## 市長

- 自治協の取り組みについて詳しくお聞かせいただいた。本当に、活発にいろいろ積極的な活動、工夫をしながらやっていただいていることを改めて感じた。特に、子供たちの取り組み、がんば吉井の取り組みについて、本当に素晴らしいと思う。ちょうど私も会場に入る前に、子供たちの感想文を少し拝見した。本当に子供たちがしっかりと地域に根づきながら学んでいる姿に改めて感心した。

今子供たちの教育は学校だけでなく、家庭、そして地域にその場が移っている。やはり、この三者が協力をしながら、これから子供たちの健やかな成長を支えていく必要があるというふうに思うので、引き続き、佐世保の未来である子供たちの教育に、お力添えいただきますようよろしくお願い申し上げたい。



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取組み)

## 地域参加者

(資料に沿って説明。以下、概要)

参照:資料2「福井洞窟を活かした潤う町づくりを目指して」

○福井洞窟の土産づくりについて取り組んだ商工会女性部、吉井支部の活動についての紹介。

○福井洞窟を見学される方には、思い出に残る土産を提供したい、洞窟にちなんだ土産を開発したい、憩って学べる場を提供したいと願っている。女性部吉井支部の活動として、福井洞窟ならではの食材を使った土産づくりに取り組むこととした。

○福井洞窟には、カラムシというビタミン、ミネラルが豊富な薬草が繁っている。カラムシには抗酸化作用による老化防止や、副腎皮質ホルモンの分泌を促してストレス対策にもなるなど、様々な薬効がある。

○この薬効があるカラムシを生かした土産を作ろうと、揚げ煎餅やクッキー、佃煮など、何度も試作を重ねていった。

○試食だけを楽しむのではなく、試食をしながら、販売できるのは何がいいかということで、おかかの入った佃煮のおにぎりとジェラートパンに決定し、4月5日の桜まつりで販売を行い盛会に終わることができた。

●今後の課題としては、販売の機会を確保すること、試作に関わる材料費の捻出、それから連携、協力の継続ということで、よりよい土産物を作るために、これからも定期的に試作などに取り組んでいくので、引き続き関係機関各位の皆様の温かいご支援をお願いしたい。  
今後の見通しだが、吉井北小跡地問題で、給食センターが決定したという話があったが、そこに付随したプラスアルファのところで、この福井洞窟を活かした土産づくりに関しても学べる場所、親子でクッキングなど体験できる場所とか、販売などをできる場所にしていただけたら嬉しいなと思っている。



【カラムシパンの試食あり】



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取組み)

## 市長

- パンおいしかったです。ごちそうさまでした。  
改めて、これまでのご活躍に心から敬意と感謝申し上げます。地域のいろいろな拠点づくりをしていくにあたって、やっぱり食というのは非常に重要である。今、観光をベースに経済部長などと一緒に、食を軸とした地域おこしというものをいろいろ考えているところ。これから文化的な施設というものを充実をさせていくときに、やはり何かそこに食というエッセンスが加われば、やっぱり大きくその拠点の良さというものが膨らんでくるということであろうかと思う。  
ぜひこれからも、しっかりと名物となるような産物を新たに作っていただければありがたい。そういう意味で、このカラムシパンというのも、1つ大きな役割を担っていただけるんじゃないかと期待をしている。先ほど課題についてもお話をいただいたので、これから加工なども経済部ともしっかりと連携をしながら、こういったことでお役に立てるのかということも含めて、協議をしていきたいというふうに思っているのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 令和8年度吉井地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・福井洞窟や直谷城跡などの文化財を生かしたまちづくりについて  
・「宮島市長に知ってほしいこと」(がんば吉井の取組み)

